

学校コード F126310107537

注3

設置年度 令和 4年度
 計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置
 注1

届出

注2
 京都光華女子大学 人間健康学群

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人光華女子学園
 令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	学長戦略推進部
職名・氏名	フイン スギモトユウコ 部員・杉本悠子
電話番号	075-325-5312
（夜間）	075-325-5312
e-mail	js@mail.koka.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
 (旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
 例)
 ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
 ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

人間健康学群

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 光華女子学園

(2) 大学名

京都光華女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒615-0882

京都府京都市右京区西京極葛野町38番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アベ ヤスキ) 阿部 恵木 (令和元年7月)		
学長	(タカミ シゲル) 高見 茂 (平成31年4月)		
学群長	(ヨシカワ ヒデキ) 吉川 秀樹 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間健康学群 学士（人間健康学）	社会学・社会福祉学関係 家政関係 文学関係	4 年	12 人	年次 人	48 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期													
A 入学定員	人 (-) [-]	12 (-) [-]	0.00倍	-											
志願者数	- (-) [-]	3 (-) [-]													
受験者数	- (-) [-]	3 (-) [-]													
合格者数	- (-) [-]	3 (-) [-]													
B 入学者数	- (-) [-]	0 (-) [-]													
入学定員超過率 B/A												0			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください）。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	0 [-] (-)	0 [-] (-)	
2 年次	/		- [-] (-)								
3 年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4 年次	/				- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	0 [-] (-)							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	0人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間健康学群>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通コア科目	仏教の人間観 I	1前	2									1
	仏教の人間観 II	1後	2									1
	京都光華の学び	1前	1									5
	アカデミックスキル入門	1前	1					1				6
	アカデミックライティング	1後	1			1						2
	伝統文化	3後	1									5
	小計(6科目)	-	8	0	0	1	0	1	0	0	0	17
外国語コミュニケーション	総合英語 I	1前	1									6
	総合英語 II	1後	1									6
	英会話 I	1・2前	1									4
	英会話 II	1・2後	1									4
	英語文献を読む I	1・2前	1									1
	英語文献を読む II	1・2後	1									1
	医療英語	1・2前後	1									2
	中国語 I	1・2前	1									3
	中国語 II	1・2後	1									3
	ハングル I	1・2前	1									1
	ハングル II	1・2後	1									1
	海外での語学研修	1・2前後	2									1
小計(12科目)	-	2	11	0	0	0	0	0	0	0	15	
健康とスポーツ	健康の科学	1・2前後	2					1				1
	スポーツ実技 I	1前	1									2
	スポーツ実技 II	1・2後	1									4
	小計(3科目)	-	4	0	0	0	1	0	0	0	6	
人文・社会・自然	哲学と倫理	1・2前後	2									1
	仏教文化	1・2後	2									1
	文化人類学	1・2前	2									1
	言語と文学	1・2前後	2									2
	日本文化の理解	1・2前後	2									3
	京都の歴史と文化	1・2前後	2									2
	芸術文化論	1・2前	2									1
	サブカルチャー論	1・2前後	2									1
	現代アジア事情	1・2前後	2									1
	現代欧米事情	1・2後	2									1
	国際社会の理解	1・2前	2									1
	国際社会とジェンダー	1・2前後	2									1
	心理学	1・2前後	2									2
	社会学	1・2後	2									1
	日本国憲法	1・2前後	2									1
	現代社会と法	1・2前	2									1
	現代社会と政治	1・2後	2									1
	くらしのなかの経済学	1・2前後	2									1
	くらしのなかの統計学	1・2後	2									1
	生命の科学	1・2後	2									1
	生活と物理・化学	1・2前	2									2
	地域と環境	1・2前後	2									1
	生活と防災	1・2後	2									1
	ボランティア論	1・2前	2				1					2
小計(24科目)	-	0	48	0	0	0	1	0	0	0	26	
キャリアデザイン	情報リテラシー基礎	1・2前	1									1
	情報リテラシー応用	1・2後	1									1
	数的処理の基礎	1・2後	1									2
	日本語表現の技法	1・2前	1									1
	読解と思考の技法	1・2後	1									1
	Webデザイン	2・3前	2									1
	プログラミング入門	2・3後	2									1
	産官学連携プロジェクト	1・2前後	2									5
	インターンシップ	2・3前後	2									1
小計(9科目)	-	0	13	0	0	0	0	0	0	0	12	
留学生	日本語F I	1前	1									1
	日本語F II	1後	1									1
	日本語S I	2前	1									1
	日本語S II	2後	1									1
	日本事情 I	1前	1									1
	日本事情 II	1後	1									1
	小計(6科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通コア科目	仏教の人間観 I	1前	2									1
	仏教の人間観 II	1後	2									1
	京都光華の学び	1前	1									6
	アカデミックスキル入門	1前	1						1			7
	アカデミックライティング	1後	1									3
	伝統文化	3後	1									5
	小計(6科目)	-	8	0	0	0	0	1	0	0	0	18
外国語コミュニケーション	総合英語 I	1前	1									5
	総合英語 II	1後	1									5
	英会話 I	1・2前	1									2
	英会話 II	1・2後	1									2
	英語文献を読む I (未開講)	1・2前	1									1
	英語文献を読む II	1・2後	1									1
	医療英語	1・2後	1									1
	中国語 I	1・2前	1									3
	中国語 II	1・2後	1									3
	ハングル I	1・2前	1									2
	ハングル II	1・2後	1									2
	海外での語学研修	1・2前後	2									1
小計(12科目)	-	2	11	0	0	0	0	0	0	0	13	
健康とスポーツ	健康の科学	1・2前後	2									2
	スポーツ実技 I	1前	1									2
	スポーツ実技 II	1・2後	1									5
	小計(3科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8
人文・社会・自然	哲学と倫理	1・2前後	2									1
	仏教文化	1・2後	2									1
	文化人類学	1・2前	2									1
	言語と文学	1・2前後	2									2
	日本文化の理解	1・2前後	2									3
	京都の歴史と文化	1・2前後	2									2
	芸術文化論	1・2前	2									1
	サブカルチャー論	1・2前後	2									1
	現代アジア事情	1・2前後	2									1
	現代欧米事情	1・2後	2									1
	国際社会の理解	1・2前	2									1
	国際社会とジェンダー	1・2前後	2									1
	心理学	1・2前後	2									2
	社会学	1・2後	2									1
	日本国憲法	1・2前	2									2
	現代社会と法	1・2前	2									1
	現代社会と政治	1・2後	2									1
	くらしのなかの経済学	1・2前後	2									1
	くらしのなかの統計学	1・2後	2									1
	生命の科学	1・2後	2									1
	生活と物理・化学	1・2前	2									2
	地域と環境	1・2前後	2									1
	生活と防災	1・2後	2									1
	ボランティア論	1・2前	2				1					2
小計(24科目)	-	0	48	0	0	0	1	0	0	0	27	
キャリアデザイン	情報リテラシー基礎	1前	1									2
	情報リテラシー応用	1後	1									3
	数的処理の基礎	1・2後	1									3
	日本語表現の技法	1・2前	1									1
	読解と思考の技法	1・2後	1									2
	Webデザイン	2・3前	2									1
	プログラミング入門	2・3後	2									1
	産官学連携プロジェクト	1・2前後	2									9
	インターンシップ	2・3前後	2									2
小計(9科目)	-	0	13	0	0	0	0	0	0	0	18	
留学生	日本語F I (未開講)	1前	1									1
	日本語F II	1後	1									1
	日本語S I (未開講)	2前	1									1
	日本語S II (未開講)	2後	1									1
	日本事情 I (未開講)	1前	1									1
	日本事情 II	1後	1									1
	小計(6科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎	基礎ゼミⅠ	1前	1			1		1				
	基礎ゼミⅡ	2前	1			1		1				
	健康管理論	1前	2								1	
	仏教と社会福祉	2後	2								1	
	心理学概論	1前	2								1	
	食生活と健康	1・2前	2								1	
	公衆衛生学	2後	2								1	
	情報社会の理解	1前	2								1	
	情報技術の理解	1後	2								1	
	社会と統計	2前	2								1	
	専門職の連携(基礎)	1・2後	2								6	
小計(11科目)	-	12	8	0	1	0	1	0	0	14		
福祉と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2前	2					1				
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2後	2					1				
	社会的処方	3・4後	2								1	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2・3前	2								1	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2・3後	2								1	
	社会保障論	3・4後	2								1	
	高齢者福祉	2・3前	2								1	
	子ども家庭支援論	3・4前	2			1						
	ソーシャル・マネジメント原論	2前	2								1	
	地域公共政策	2・3前	2								1	
	社会政策	2・3後	2								1	
小計(13科目)	-	8	17	0	1	1	1	0	0	7		
人と心理	社会心理学入門	2前	2								1	
	臨床心理学入門	2前	2			1					1	
	発達心理学入門	2後	2								1	
	青年心理学	2・3後	2								1	
	子どもと人間関係	3・4後	2								1	
	学習・言語心理学	2・3・4後	2								1	
	産業・組織心理学	2・3・4前	2								1	
	環境心理学	2・3・4前	2								1	
	子ども家庭支援の心理学	2・3・4後	2								1	
	小計(9科目)	-	6	12	0	1	0	0	0	0	6	
食べ物と栄養	生命科学の基礎	1前	2								1	
	食品学Ⅰ	1後	2								1	
	食品学Ⅱ	2・3前	2								1	
	食品衛生学	2・3後	2								1	
	食マーケティング論	3・4前	2								1	
	基礎栄養学Ⅰ	2前	2				1				1	
	基礎栄養学Ⅱ	2・3後	2				1				1	
	応用栄養学	3・4後	2				1				1	
	公衆栄養学	3・4前	2								1	
	子どもの食と栄養	3・4後	2								1	
小計(10科目)	-	6	14	0	0	0	1	0	0	5		
ヒミナール	専門演習Ⅰ	3前	1			1	1					
	専門演習Ⅱ	3後	1			1	1	2				
	卒業研究	4通	4			3	1	3				
	小計(3科目)	-	6	0	0	3	1	3	0	0		
関連科目	女性と現代社会	2・3・4後	2								1	
	女性とビジネス	2・3・4後	2								1	
	女性と経済	2・3・4前	2								1	
	女性のアントレプレナーシップ	3・4前	1								1	
	労働と法規	3・4前	2								1	
	労働社会学	3・4後	2								1	
	人体の構造と生理Ⅰ	1・2後	2								1	
	人体の構造と生理Ⅱ	2・3前	2								1	
	生活習慣病論	3・4前	2								1	
	生涯スポーツ入門	1・2後	2								1	
	生涯スポーツ実習	2・3・4後	1								1	
	スポーツマネジメント論	3・4前	2								1	
	社会調査法	3・4前	2			1						1
	社会調査実習Ⅰ	3・4前	1								1	
	社会調査実習Ⅱ	3・4後	1								1	
	データ解析入門	2前	1								1	
	データ解析応用	2後	1								1	
	コンピュータ活用C	3前	1								1	
	教育原理	1・2前	2				1					
	教育心理学	2・3・4前	2						1			1
	特別支援教育	2・3・4後	2								1	
	教育の制度・運営	2・3・4前	2								1	
	多文化理解	2・3・4前	2								1	
	人権教育	2・3・4後	2								1	
	生涯学習	3・4後	2								1	
小計(25科目)	-	0	43	0	1	0	1	0	0	16		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎	基礎ゼミⅠ(未開講)	1前	1			1		1				
	基礎ゼミⅡ(未開講)	2前	1			1		1				
	健康管理論	1前	2								1	
	仏教と社会福祉	2後	2								1	
	心理学概論	1前	2								1	
	食生活と健康	1・2後	2								1	
	公衆衛生学	2前	2								1	
	情報社会の理解	1前	2								1	
	情報技術の理解	1後	2								1	
	社会と統計	2前	2								1	
	専門職の連携(基礎)	1・2後	2								6	
小計(11科目)	-	12	8	0	1	0	1	0	0	13		
福祉と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2前	2					1				
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2後	2					1				
	社会的処方	3・4後	2								1	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2・3前	2								1	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2・3後	2								1	
	社会保障論	3・4後	2								1	
	高齢者福祉	2・3前	2								1	
	子ども家庭支援論	3・4前	2			1						
	ソーシャル・マネジメント原論	2前	2								1	
	地域公共政策	2・3前	2								1	
	社会政策	2・3後	2								1	
小計(13科目)	-	8	17	0	1	1	1	0	0	7		
人と心理	社会心理学入門	2前	2								1	
	臨床心理学入門	2前	2			1					1	
	発達心理学入門	2後	2								1	
	青年心理学	2・3後	2								1	
	子どもと人間関係	3・4後	2								1	
	学習・言語心理学	2・3・4後	2								1	
	産業・組織心理学	2・3・4前	2								1	
	環境心理学	2・3・4前	2								1	
	子ども家庭支援の心理学	2・3・4後	2								1	
	小計(9科目)	-	6	12	0	1	0	0	0	0	6	
食べ物と栄養	生命科学の基礎	1前	2								1	
	食品学Ⅰ	1後	2								1	
	食品学Ⅱ	2・3前	2								1	
	食品衛生学	2・3後	2								1	
	食マーケティング論	3・4前	2								1	
	基礎栄養学Ⅰ	2前	2				1				1	
	基礎栄養学Ⅱ	2・3後	2				1				1	
	応用栄養学	3・4後	2				1				1	
	公衆栄養学	3・4前	2								1	
	子どもの食と栄養	3・4後	2								1	
小計(10科目)	-	6	14	0	0	0	1	0	0	5		
ヒミナール	専門演習Ⅰ	3前	1			1	1					
	専門演習Ⅱ	3後	1			1	1	2				
	卒業研究	4通	4			3	1	3				
	小計(3科目)	-	6	0	0	3	1	3	0	0		
関連科目	女性と現代社会	2・3・4後	2								1	
	女性とビジネス	2・3・4後	2								1	
	女性と経済	2・3・4前	2								1	
	女性のアントレプレナーシップ	3・4前	1								1	
	労働と法規	3・4前	2								1	
	労働社会学	3・4後	2								1	
	人体の構造と生理Ⅰ	1・2後	2								1	
	人体の構造と生理Ⅱ	2・3前	2								1	
	生活習慣病論	3・4前	2								1	
	生涯スポーツ入門	1・2後	2								1	
	生涯スポーツ実習	2・3・4後	1								1	
	スポーツマネジメント論	3・4前	2								1	
	社会調査法	3・4前	2								1	
	社会調査実習Ⅰ	3・4前	1								1	
	社会調査実習Ⅱ	3・4後	1								1	
	データ解析入門	2前	1								1	
	データ解析応用	2後	1								1	
	コンピュータ活用C	3前	1								1	
	教育原理	1・2前	2									
	教育心理学	2・3・4前	2						1			1
	特別支援教育	2・3・4後	2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自由 科目	メディカルクラークⅠ	2・3・4期			2						1
	メディカルクラークⅡ	2・3・4期			2						1
	メディカルクラーク応用	2・3・4期			1						1
	ドクターズクラークⅠ	2・3・4期			2						1
	ドクターズクラークⅡ	2・3・4期			2						1
	健康政策特別演習Ⅰ	2後			1						1
	健康政策特別演習Ⅱ	3前			1						1
	健康政策特別演習Ⅲ	3後			1						1
	健康政策特別演習Ⅳ	4前			1						5
	小計(9科目)	-	0		13	0	0	1	0	0	8
卒業要件及び履修方法											
リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修10単位、選択22単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上(選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自由 科目	メディカルクラークⅠ	2・3・4期			2						2
	メディカルクラークⅡ	2・3・4期			2						2
	メディカルクラーク応用	2・3・4期			1						2
	ドクターズクラークⅠ	2・3・4期			2						1
	ドクターズクラークⅡ	2・3・4期			2						1
	健康政策特別演習Ⅰ	2後			1						1
	健康政策特別演習Ⅱ	3前			1						1
	健康政策特別演習Ⅲ	3後			1						1
	健康政策特別演習Ⅳ	4前			1						5
	小計(9科目)	-	0		13	0	0	1	0	0	9
卒業要件及び履修方法											
リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修10単位、選択22単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上(選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」、「【連携実務実習】による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・開講クラス数調整の理由により、「京都光華の学び」の兼任・兼任の配置を「5」から「6」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「アカデミックスキル入門」の兼任・兼任の配置を「6」から「7」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アカデミックライティング」の専任教員等の配置を教授「1」から「0」、兼任・兼任「2」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「伝統文化」の配当年次を「3後」から「2・3・4後」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「総合英語Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「6」から「5」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「総合英語Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「6」から「5」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「英会話Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「4」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「英会話Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「4」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「医療英語」の兼任・兼任の配置を「2」から「1」に変更。
- ・時間割調整の理由により、「医療英語」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「ハングルⅠ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「ハングルⅡ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「海外での語学研修」の配当年次を「1・2前後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・担当教員変更の理由により、「健康の科学」の専任教員等の配置を講師「1」から「0」、兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「スポーツ実技Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「4」から「5」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「日本国憲法」の配当年次を「1・2前後」から「1・2前」に変更。
- ・担当教員変更の理由により、「日本国憲法」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・開講クラス数調整の理由により、「情報リテラシー基礎」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報リテラシー基礎」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報リテラシー応用」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報リテラシー応用」の配当年次を「1・2後」から「1後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「数的処理の基礎」の配当年次を「1・2後」から「1・2前後」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「数的処理の基礎」の兼任・兼任の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「読解と思考の技法」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「産官学連携プロジェクト」の兼任・兼任の配置を「5」から「9」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「インターンシップ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「インターンシップ」の配当年次を「2・3前通」から「2・3通」に変更。
- ・申請時の記載内容修正の理由により、科目区分「留学生」の兼任・兼任の配置小計を「3」から「2」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「食生活と健康」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「公衆衛生学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「基礎栄養学Ⅰ」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「基礎栄養学Ⅱ」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「女性のアントレプレナーシップ」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・担当教員変更の理由により、「社会調査法」の専任教員等の配置を教授「1」から「0」、兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「データ解析入門」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「データ解析応用」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割編成の理由により、「教育の制度・運営」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「メディカルクラークⅠ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「メディカルクラークⅡ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「メディカルクラーク応用」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば令和元年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	103 科目	9 科目	140 科目	28 科目 [0]	103 科目 [0]	9 科目 [0]	140 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	基礎ゼミ I	1	1	専門	必修	入学者0の為、未開講となった
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{1}{140} = \boxed{0.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	京都光華女子大学短期 大学部と共用 (短大必要面積：校地 2,000㎡、校舎2,350 ㎡)			
	校 舎 敷 地	0.00 ㎡	9,009.5 ㎡	0.00 ㎡	9,009.5 ㎡				
	運 動 場 用 地	0.00 ㎡	28,468.61 ㎡	0.00 ㎡	28,468.61 ㎡				
	小 計	0.00 ㎡	37,411.11 ㎡	0.00 ㎡	37,411.11 ㎡				
	そ の 他	0.00 ㎡	13,469.88 ㎡	0.00 ㎡	13,469.88 ㎡				
	合 計	0.00 ㎡	50,947.99 ㎡	0.00 ㎡	50,947.99 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	京都光華女子大学短期 大学部と共用 (短大必要面積：校地 2,000㎡、校舎2,350 ㎡)				
	9,970.77 ㎡ (9,970.77 ㎡)	24,475.59 ㎡ (24,475.59 ㎡)	578.92㎡ (578.92 ㎡)	35,025.28 ㎡ (35,025.28 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	51室	45室	33室	5室 (補助職員 一人)	1室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	人間健康学群		7 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体共用分 図書 241,824 [32,409] 240,027 [32,386] - 学術雑誌 5,230 5,199 [414] 電子ジャーナル 5 [2] 視聴覚 4,712 4,659 届出以降に書籍を追加 購入したため。	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]					点
	人間健康学群	11,717 11,674 [958] 11,717 (11,674 [958])	429 [150] (429 [150])	0 [2] (0 [2])	337 317 (337) (317)-	200 (50)	— (—)		
	計	11,717 11,674 [958] 11,717 (11,674 [958])	429 [150] (429 [150])	0 [2] (0 [2])	337 317 (337) (317)-	200 (50)	— (—)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	2968.70㎡		258	326,139					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1164.99㎡		—						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	500千円	12,000千円		12,000千円
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	5,000千円	1,000千円	1,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,500千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	京都光華女子大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間健康学群	4	12	-	48	学士(人間健康学)	0.00	0.00	-	令和4	京都市右京区西京極葛野町38番地	
キャリア形成学部								-			
キャリア形成学科	4	90	-	340	学士(教養)	1.02	0.69	-	平成22	同上	
健康科学部											
健康栄養学科	4	120	-	484	学士(栄養学)	0.93	0.86	-	平成22	同上	
管理栄養士専攻	4	80	-	320	学士(栄養学)	0.97	0.90	-	平成22	同上	
健康スポーツ栄養専攻	4	40	34	164	学士(栄養学)	0.89	0.83	-	平成22	同上	令和4年4月より編入学生募集停止
看護学科	4	85	-	340	学士(看護学)	1.15	1.12	-	平成23	同上	
心理学科	4	60	-	220	学士(心理学)	1.07	0.67	-	平成26	同上	
医療福祉学科	4	60	-	280	学士(医療福祉学)	0.70	0.57	-	平成26	同上	
社会福祉専攻	4	30	-	140	学士(医療福祉学)	0.67	0.47	-	平成26	同上	
言語聴覚専攻	4	30	-	140	学士(医療福祉学)	0.74	0.67	-	平成26	同上	
こども教育学部											
こども教育学科	4	70	-	310	学士(こども教育学)	0.77	0.69	-	平成27	同上	
大学全体	-	497	4	2022	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	京都光華女子大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科筆数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
心理学研究科 臨床心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.70	1.00		平成16	京都市右京区西京 極葛野町38番地	
看護学研究科 看護学専攻	2	5	-	10	修士 (看護学)	1.60	2.00		平成27	同上	
大学院全体	-	15	-	30	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	京都光華女子大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科筆数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
ライフデザイン学科	年	人	年次人	人	短期大学士(ライフデザイン学)	倍	倍	-	平成18	京都市右京区西京極葛野町38番地	
短期大学全体	-	100	-	200	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間健康学群>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学群長)	吉川 秀樹 (63) <令和4年4月> 博士(農学)	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究
専	教授	酒井 浩二 (49) <令和4年4月> 博士(情報学)	アカデミックライティング ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅰ 卒業研究 社会調査法
専	教授	徳田 仁子 (67) <令和4年4月> 教育学修士	臨床心理学入門 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	松本 しのぶ (46) <令和4年4月> 修士(学術)	子ども家庭支援論 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	千葉 晃央 (49) <令和4年4月> 修士(人間科学)	ボランティア論 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	中本 直子 (35) <令和4年4月> 博士(生活環境学)	健康の科学 基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	西川 潤 (34) <令和4年4月> 修士(教育学)	アカデミックスキル入門 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 教育原理
兼任	教授	朝比奈 英夫 (60) <令和4年4月> 博士(文学)	言語と文学 日本文化の理解 京都の歴史と文化 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	阿部 一晴 (60) <令和4年4月> 修士(応用情報科学)	くらしのなかの経済学 情報技術の理解
兼任	教授	石井 祐理子 (56) <令和4年4月> 修士(社会福祉学)	ボランティア論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ
兼任	教授	伊藤 美加 (48) <令和4年4月> 博士(教育学)	心理学 教育心理学 人権教育
兼任	教授	上田 修三 (67) <令和4年4月> 経済学士	海外での語学研修 日本語SⅠ 日本語SⅡ
兼任	教授	加藤 千恵 (65) <令和4年4月> 社会学修士	京都光華の学び 社会学 女性と現代社会
兼任	教授	川西 千弘 (64) <令和4年4月> 博士(教育学)	心理学概論 産業・組織心理学 環境心理学
兼任	教授	河原 聡子 (67) <令和4年9月> 教育学士	数的処理の基礎

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学群長)	吉川 秀樹 (63) <令和4年4月> 博士(農学)	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究
専	教授	酒井 浩二 (49) <令和4年4月> 博士(情報学)	ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	徳田 仁子 (67) <令和4年4月> 教育学修士	臨床心理学入門 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	松本 しのぶ (47) <令和4年4月> 修士(学術)	子ども家庭支援論 専門演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	千葉 晃央 (49) <令和4年4月> 修士(人間科学)	ボランティア論 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャル・ビジネス演習 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	中本 直子 (35) <令和4年4月> 博士(生活環境学)	基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	西川 潤 (34) <令和4年4月> 修士(教育学)	アカデミックスキル入門 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究 教育原理
兼任	教授	朝比奈 英夫 (60) <令和5年4月> 博士(文学)	言語と文学 日本文化の理解 京都の歴史と文化 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	阿部 一晴 (60) <令和5年4月> 修士(応用情報科学)	くらしのなかの経済学 情報技術の理解 情報社会の理解
兼任	教授	石井 祐理子 (56) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)	ボランティア論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ
兼任	教授	伊藤 美加 (48) <令和5年4月> 博士(教育学)	心理学 教育心理学 人権教育
兼任	教授	上田 修三 (67) <令和5年4月> 経済学士	海外での語学研修 日本語SⅠ 日本語SⅡ
兼任	教授	加藤 千恵 (65) <令和5年4月> 社会学修士	京都光華の学び 社会学 女性と現代社会
兼任	教授	川西 千弘 (64) <令和5年4月> 博士(教育学)	心理学概論 産業・組織心理学 環境心理学
兼任	教授	河原 聡子 (67) <令和5年9月> 教育学士	数的処理の基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	河村 民平 (45) <令和4年4月> 博士(健康科学) 医療英語 専門職の連携(基礎)
兼任	教授	木戸 美幸 (65) <令和5年4月> 文学修士 多文化理解
兼任	教授	荃津 智子 (62) <令和4年9月> 修士(看護学) 専門職の連携(基礎)
兼任	教授	河野 和清 (71) <令和5年4月> 博士(教育学) 教育の制度・運営 人権教育
兼任	教授	小森 康加 (52) <令和5年9月> 博士(スポーツ医学) 生涯スポーツ実習
兼任	教授	澤井 律之 (65) <令和4年4月> 文学博士 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 現代アジア事情 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	水道 裕久 (66) <令和4年9月> 工学博士 食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学
兼任	教授	千野 美和子 (67) <令和4年9月> 博士(教育学) 専門職の連携(基礎)
兼任	教授	高野 拓樹 (45) <令和4年4月> 博士(工学) 生活と物理・化学 地域と環境 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	竹西 正典 (62) <令和5年4月> 教育学博士 社会心理学入門 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ
兼任	教授	谷本 寛文 (52) <令和4年9月> 修士(教育学) 読解と思考の技法
兼任	教授	田縁 眞弓 (67) <令和4年4月> 応用英語修士 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英語文献を読むⅠ 英語文献を読むⅡ
兼任	教授	土居 淳子 (55) <令和4年9月> 博士(工学) くらしのなかの統計学 データ解析入門 データ解析応用 コンピュータ活用C 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	西川 智文 (55) <令和4年4月> 医学博士 健康管理論
兼任	教授	森本(矢野) 恵子 (66) <令和4年9月> 医学博士 人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生活習慣病論
兼任	教授	吉田 咲子 (59) <令和4年4月> 工学学士 産官学連携プロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	河村 民平 (45) <令和5年9月> 博士(健康科学) 医療英語 専門職の連携(基礎)
兼任	教授	荃津 智子 (62) <令和5年9月> 修士(看護学) 専門職の連携(基礎)
兼任	教授	河野 和清 (71) <令和5年9月> 博士(教育学) 教育の制度・運営
兼任	教授	小森 康加 (52) <令和6年9月> 博士(スポーツ医学) 生涯スポーツ実習
兼任	講師	澤井 律之 (65) <令和5年4月> 文学博士 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 現代アジア事情 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	水道 裕久 (67) <令和5年9月> 工学博士 食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学
兼任	教授	高野 拓樹 (45) <令和5年4月> 博士(工学) 生活と物理・化学 地域と環境 産官学連携プロジェクト 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	教授	竹西 正典 (62) <令和6年4月> 教育学博士 社会心理学入門 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ
兼任	教授	田縁 眞弓 (68) <令和5年4月> 応用英語修士 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 英語文献を読むⅠ 英語文献を読むⅡ
兼任	教授	土居 淳子 (55) <令和5年4月> 博士(工学) 京都光華の学び くらしのなかの統計学 データ解析応用 健康政策特別演習Ⅳ 読解と思考の技法 産官学連携プロジェクト
兼任	教授	西川 智文 (55) <令和5年4月> 医学博士 健康管理論 健康の科学
兼任	教授	森本(矢野) 恵子 (66) <令和5年9月> 医学博士 人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生活習慣病論
兼任	教授	吉田 咲子 (60) <令和5年4月> 工学学士 産官学連携プロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	臼井 義比古 (58) <令和4年4月> 工学修士 アカデミックスキル入門 生活と物理・化学 数的処理の基礎 プログラミング入門
兼任	准教授	内田 和寿 (47) <令和4年9月> 修士(体育学) スポーツ実技Ⅱ 生涯スポーツ入門
兼任	准教授	大谷 多加志 (43) <令和5年4月> 博士(人間文化学) 臨床心理学入門 子ども家庭支援の心理学
兼任	准教授	小澤 千晶 (54) <令和4年4月> 博士(文学) 京都光華の学び アカデミックスキル入門 仏教文化
兼任	准教授	金治(細川)宏 (46) <令和4年4月> 博士(経営学) 産官学連携プロジェクト ソーシャル・マネジメント原論 ソーシャルビジネス 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	准教授	窪内 敬子 (60) <令和4年9月> 博士(臨床福祉学) 専門職の連携(基礎)
兼任	准教授	高井 小織 (61) <令和5年9月> 修士(人間科学) 特別支援教育
兼任	准教授	磯波(竹内)朋子 (49) <令和5年9月> 修士(学術) 発達心理学入門 子どもと人間関係
兼任	准教授	西 孝一郎 (64) <令和4年4月> 教育学士 産官学連携プロジェクト
兼任	准教授	橋口 美智留 (40) <令和4年4月> 博士(栄養学) 生命科学の基礎
兼任	准教授	藤村 佳子 (40) <令和5年9月> 修士(経営学) 女性とビジネス 女性のアントレプレナーシップ
兼任	准教授	南 多恵子 (52) <令和4年4月> 修士(人間科学) ボランティア論
兼任	講師	河嶋 伸久 (39) <令和6年4月> 博士(栄養学) 公衆栄養学
兼任	講師	谷本 拓郎 (38) <令和5年9月> 修士(学術) 青年心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	臼井 義比古 (58) <令和5年4月> 工学修士 アカデミックスキル入門 生活と物理・化学 数的処理の基礎 プログラミング入門
兼任	准教授	内田 和寿 (47) <令和5年9月> 修士(体育学) スポーツ実技Ⅱ 生涯スポーツ入門
兼任	准教授	大谷 多加志 (43) <令和6年4月> 博士(人間文化学) 臨床心理学入門 子ども家庭支援の心理学
兼任	准教授	小澤 千晶 (54) <令和5年4月> 博士(文学) 京都光華の学び アカデミックスキル入門 仏教文化 読解と思考の技法
兼任	准教授	金治(細川)宏 (46) <令和5年4月> 博士(経営学) 産官学連携プロジェクト ソーシャル・マネジメント原論 健康政策特別演習Ⅳ
兼任	准教授	窪内 敬子 (60) <令和5年9月> 博士(臨床福祉学) 専門職の連携(基礎)
兼任	准教授	高井 小織 (61) <令和6年9月> 修士(人間科学) 特別支援教育
兼任	准教授	磯波(竹内)朋子 (49) <令和6年9月> 修士(学術) 発達心理学入門 子どもと人間関係
兼任	准教授	西 孝一郎 (64) <令和5年4月> 教育学士 産官学連携プロジェクト
兼任	准教授	橋口 美智留 (40) <令和5年4月> 博士(栄養学) 生命科学の基礎
兼任	准教授	藤村 佳子 (40) <令和6年4月> 修士(経営学) インターンシップ 女性とビジネス
兼任	准教授	南 多恵子 (52) <令和5年4月> 修士(人間科学) ボランティア論
兼任	准教授	大島 祥子 (61) <令和5年4月> 博士(学術) 産官学連携プロジェクト ソーシャルビジネス 女性のアントレプレナーシップ
兼任	准教授	関 道子 (54) <令和5年4月> 修士(人間科学) 産官学連携プロジェクト
兼任	准教授	森 久美子 (62) <令和5年4月> 修士(看護学) 京都光華の学び
兼任	准教授	河嶋 伸久 (39) <令和7年4月> 博士(栄養学) 公衆栄養学
兼任	講師	谷本 拓郎 (38) <令和6年9月> 修士(学術) 青年心理学 専門職の連携(基礎)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	小島 菜実絵 (41) <令和4年9月> 博士(医学) 専門職の連携(基礎)
兼任	講師	Stricland Zachary Marcus (40) <令和4年4月> Bachelor(米国) 総合英語 I 総合英語 II 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	浜内 彩乃 (37) <令和4年9月> 修士(心理学) 専門職の連携(基礎)
兼任	講師	青木 知史 (50) <令和5年9月> 教育学修士 学習・言語心理学
兼任	講師	朝倉 真一 (51) <令和4年4月> 修士(農学) 京都光華の学び
兼任	講師	足立 早恵子 (53) <令和5年4月> 文学士 女性と経済
兼任	講師	有廣 悠乃 (30) <令和4年4月> 修士(国際学) 京都光華の学び
兼任	講師	池原 曜子 (53) <令和4年4月> 学士(英語学) 総合英語 I 総合英語 II
兼任	講師	石井 智 (61) <令和6年4月> 博士(政策科学) スポーツマネジメント論
兼任	講師	石田 佳子 (62) <令和4年9月> 体育学士 スポーツ実技 II
兼任	講師	乾 明紀 (50) <令和4年4月> 修士(人間科学) 京都光華の学び
兼任	講師	今村 行雄 (51) <令和5年9月> 医学博士 公衆衛生学
兼任	講師	上田 和彦 (48) <令和5年9月> 文学修士 健康政策特別演習 I 健康政策特別演習 III

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	Stricland Zachary Marcus (41) <令和5年4月> Bachelor(米国) 総合英語 I 総合英語 II 英会話 I 英会話 II 多文化理解
兼任	講師	佐藤 嘉洋 (40) <令和5年4月> 博士(工学) 数値処理の基礎 産官学連携プロジェクト インターンシップ 社会調査法 データ解析入門 コンピュータ活用C
兼任	講師	村上 貴栄 (54) <令和5年9月> 修士(社会福祉学) 専門職の連携(基礎)
兼任	講師	眞 美奈子 (54) <令和5年9月> 修士(文学) 専門職の連携(基礎)
兼任	講師	青木 知史 (50) <令和6年9月> 教育学修士 学習・言語心理学
兼任	講師	朝倉 真一 (51) <令和5年4月> 修士(農学) 京都光華の学び アカデミックスキル入門
兼任	講師	足立 早恵子 (53) <令和6年4月> 文学士 女性と経済
兼任	講師	石井 智 (61) <令和7年4月> 博士(政策科学) スポーツマネジメント論
兼任	講師	石田 佳子 (62) <令和5年9月> 体育学士 スポーツ実技 II
兼任	講師	乾 明紀 (51) <令和5年4月> 修士(人間科学) 京都光華の学び
兼任	講師	今村 行雄 (51) <令和6年4月> 医学博士 公衆衛生学
兼任	講師	上田 和彦 (65) <令和6年9月> 文学修士 健康政策特別演習 I 健康政策特別演習 III

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上 英後 (49) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		健康の科学
兼任	講師	笠井 敬太 (31) <令和6年9月> 修士(人間科学)
		労働社会学
兼任	講師	梶 哲也 (39) <令和4年4月> 修士(文学)
		仏教の人間観Ⅰ 仏教の人間観Ⅱ
兼任	講師	風岡 宗人 (44) <令和5年9月> 修士(政策学)
		社会政策
兼任	講師	櫻 智子 (62) <令和4年9月> 体育学士
		スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	加藤 大門 (41) <令和4年4月> 修士(教育学)
		スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	北井 佑実子 (44) <令和4年4月> 博士(文学)
		日本文化の理解
兼任	講師	木原 香代子 (49) <令和4年4月> 博士(教育学)
		心理学
兼任	講師	Carolyn Wright (59) <令和4年4月> 社会学博士
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 国際社会とジェンダー
兼任	講師	黒澤 暁 (34) <令和4年4月> 博士(文学)※
		日本文化の理解
兼任	講師	近藤 実千代 (49) <令和4年4月> 博士(法学)
		日本国憲法 現代社会と法
兼任	講師	齋藤 鮎子 (35) <令和4年4月> 修士(文学)
		アカデミックスキル入門
兼任	講師	座古 亜紀 (53) <令和4年4月> 学士(文学)
		情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用
兼任	講師	佐々木 幸喜 (36) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		日本語FⅠ 日本語FⅡ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ
兼任	講師	佐藤 真理恵 (40) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		芸術文化論
兼任	講師	澤田 裕子 (43) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックライティング 京都の歴史と文化
兼任	講師	澤田 依子 (48) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上 英後 (49) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		健康の科学
兼任	講師	笠井 敬太 (31) <令和7年9月> 修士(人間科学)
		労働社会学
兼任	講師	梶 哲也 (40) <令和5年4月> 修士(文学)
		仏教の人間観Ⅰ 仏教の人間観Ⅱ
兼任	講師	風岡 宗人 (44) <令和6年9月> 修士(政策学)
		社会政策
兼任	講師	櫻 智子 (62) <令和6年9月> 体育学士
		スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	加藤 大門 (41) <令和5年4月> 修士(教育学)
		スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ
兼任	講師	北井 佑実子 (44) <令和5年4月> 博士(文学)
		日本文化の理解
兼任	講師	木原 香代子 (50) <令和5年4月> 博士(教育学)
		心理学
兼任	講師	
兼任	講師	黒澤 暁 (34) <令和5年4月> 博士(文学)※
		日本文化の理解
兼任	講師	近藤 実千代 (49) <令和5年4月> 博士(法学)
		日本国憲法 現代社会と法
兼任	講師	
兼任	講師	座古 亜紀 (54) <令和5年4月> 学士(文学)
		情報リテラシー基礎 情報リテラシー応用
兼任	講師	佐々木 幸喜 (36) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		日本語FⅠ 日本語FⅡ 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ
兼任	講師	佐藤 真理恵 (40) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		芸術文化論
兼任	講師	澤田 裕子 (43) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックライティング 京都の歴史と文化
兼任	講師	澤田 依子 (49) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	James Drayton (66) <令和4年4月> 哲学修士 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	塩田 潤 (30) <令和4年9月> 政治学修士 現代社会と政治
兼任	講師	島田 淳子 (58) <令和6年9月> 家政学士 子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 伸賢 (49) <令和6年4月> 学士(法学) 労働と法規
兼任	講師	菅 浩江 (58) <令和4年4月> 「高等学校卒」 サブカルチャー論
兼任	講師	杉岡 秀紀 (41) <令和5年4月> 修士(政策科学) 地域公共政策
兼任	講師	千田 眞喜子 (61) <令和4年4月> 家政学修士 食生活と健康
兼任	講師	高屋 佐紀 (52) <令和4年4月> 学士(文学) 総合英語 I 総合英語 II
兼任	講師	高橋 学 (52) <令和4年4月> 外国語学修士 ハングル I ハングル II
兼任	講師	高林 佑丞 (35) <令和6年9月> 学士(総合政策学) 伝統文化
兼任	講師	高林 由紀子 (56) <令和6年9月> 学士(文学) 伝統文化
兼任	講師	竹中 正太郎 (43) <令和4年4月> 博士(文学) 哲学と倫理
兼任	講師	田中 はるみ (63) <令和5年4月> 短期大学士 メディカルクラーク I メディカルクラーク II メディカルクラーク応用 ドクターズクラーク I ドクターズクラーク II
兼任	講師	樽田 勇樹 (34) <令和4年4月> 修士(文学) アカデミックスキル入門
兼任	講師	張 明和 (69) <令和4年4月> 文学博士「※」 中国語 I 中国語 II
兼任	講師	トーマス ハートウ (68) <令和4年4月> Ph.D in Political Theory (米國) 英会話 I 英会話 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	塩田 潤 (30) <令和5年9月> 政治学修士 現代社会と政治
兼任	講師	島田 淳子 (58) <令和7年9月> 家政学士 子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 伸賢 (49) <令和7年4月> 学士(法学) 労働と法規
兼任	講師	菅 浩江 (58) <令和5年4月> 「高等学校卒」 サブカルチャー論
兼任	講師	杉岡 秀紀 (41) <令和6年4月> 修士(政策科学) 地域公共政策
兼任	講師	千田 眞喜子 (61) <令和5年9月> 家政学修士 食生活と健康
兼任	講師	高橋 学 (52) <令和5年4月> 外国語学修士 ハングル I ハングル II
兼任	講師	高林 佑丞 (35) <令和6年9月> 学士(総合政策学) 伝統文化
兼任	講師	高林 由紀子 (56) <令和6年9月> 学士(文学) 伝統文化
兼任	講師	竹中 正太郎 (43) <令和5年4月> 博士(文学) 哲学と倫理
兼任	講師	田中 はるみ (63) <令和6年4月> 短期大学士 メディカルクラーク I メディカルクラーク II メディカルクラーク応用 ドクターズクラーク I ドクターズクラーク II
兼任	講師	樽田 勇樹 (34) <令和5年4月> 修士(文学) アカデミックスキル入門
兼任	講師	張 明和 (69) <令和5年4月> 文学博士「※」 中国語 I 中国語 II
兼任	講師	トーマス ハートウ (68) <令和5年4月> Ph. Din Political Theory (米國) 英会話 I 英会話 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	富岡 敦基 (26) <令和6年4月> 学士(教育学)
		健康政策特別演習Ⅱ
兼任	講師	中野 剛志 (43) <令和6年9月> 学士(法学)
		伝統文化
兼任	講師	中村 真理絵 (44) <令和4年4月> 博士(文学)「※」
		文化人類学
兼任	講師	中谷 聡 (47) <令和5年4月> 新聞学修士
		社会と統計
兼任	講師	南谷 静香 (32) <令和4年4月> 修士(文学)
		アカデミックスキル入門
兼任	講師	西池 沙織 (36) <令和4年9月> 学士(言語・文化)
		生活と防災
兼任	講師	二條 絵美子 (43) <令和4年4月> 修士(人間・環境学)
		アカデミックスキル入門 アカデミックライティング
兼任	講師	萩本 房子 (61) <令和6年9月> 文学士
		伝統文化
兼任	講師	ビーティ 由紀子 (58) <令和4年4月> 修士(文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 医療英語
兼任	講師	藤田 佳代 (57) <令和6年9月> 教育学士
		伝統文化
兼任	講師	細見 亮太 (38) <令和4年9月> 博士(工学)
		生命の科学
兼任	講師	堀田 聡子 (46) <令和6年9月> 博士(国際公共政策)
		社会的処方
兼任	講師	堀 善昭 (49) <令和5年4月> 修士(社会学)
		高齢者福祉
兼任	講師	眞鍋 邦大 (43) <令和6年4月> 博士(農学)
		食マーケティング論
兼任	講師	三井 規裕 (44) <令和4年4月> 修士(学術)
		情報社会の理解
兼任	講師	藪川 恵理子 (64) <令和4年4月> 文学博士
		言語と文学 日本語表現の技法
兼任	講師	宮村 裕子 (46) <令和6年9月> 修士(教育学)
		生涯学習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	富岡 敦基 (26) <令和7年4月> 学士(教育学)
		健康政策特別演習Ⅱ
兼任	講師	中野 剛志 (43) <令和7年9月> 学士(法学)
		伝統文化
兼任	講師	中谷 聡 (47) <令和6年4月> 新聞学修士
		社会と統計
兼任	講師	南谷 静香 (32) <令和6年4月> 修士(文学)
		アカデミックスキル入門
兼任	講師	西池 沙織 (36) <令和6年9月> 学士(言語・文化)
		生活と防災
兼任	講師	二條 絵美子 (43) <令和6年4月> 修士(人間・環境学)
		アカデミックスキル入門 アカデミックライティング
兼任	講師	萩本 房子 (61) <令和7年9月> 文学士
		伝統文化
兼任	講師	藤田 佳代 (58) <令和7年9月> 教育学士
		伝統文化
兼任	講師	細見 亮太 (38) <令和6年9月> 博士(工学)
		生命の科学
兼任	講師	堀田 聡子 (46) <令和7年9月> 博士(国際公共政策)
		社会的処方
兼任	講師	堀 善昭 (49) <令和6年4月> 修士(社会学)
		高齢者福祉
兼任	講師	眞鍋 邦大 (43) <令和7年4月> 博士(農学)
		食マーケティング論
兼任	講師	藪川 恵理子 (64) <令和6年4月> 文学博士
		言語と文学 日本語表現の技法
兼任	講師	宮村 裕子 (46) <令和7年9月> 修士(教育学)
		生涯学習

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

Blank box for the 2019 fiscal year.

【令和2年度】

Blank box for the 2020 fiscal year.

【令和3年度】

Blank box for the 2021 fiscal year.

【令和4年度】

令和4年度入学生がいなかったため、専任教員以外の教員の就任年度を1年延期。ただし、開講時期変更や担当科目変更に伴う就任時期変更の場合は、下記に個別に記載。

【専任】

- ・酒井浩二教授 科目担当者の調整に伴い、担当科目「社会調査法」「アカデミックライティング」を削除
- ・中木直子講師 科目担当者の調整に伴い、担当科目「健康の科学」を削除

【兼任】

- ・阿部一晴教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「情報社会の理解」を追加
- ・伊藤美加教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「人権教育」を追加
- ・加藤千恵教授 担当者変更に伴い、担当科目「インターンシップ」を削除
- ・河村民平教授 担当科目「医療英語」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・木戸美幸教授 定年退職に伴い、担当科目「多文化理解」を削除
- ・河野和清教授 担当者変更に伴い、担当科目「人権教育」を削除
- ・澤井律之教授 担当科目「教育の制度・運営」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・定年退職に伴い、兼任教授から兼任講師に変更
- ・千野美和子教授 定年退職に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・谷本寛文教授 担当者変更に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を削除
- ・土居淳子教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「京都光華の学び」「読解と思考の技法」「産官学連携プロジェクト」を追加
- ・担当者変更に伴い、担当科目「データ解析入門」を削除
- ・担当科目変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・西川智文教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「健康の科学」を追加
- ・小澤千晶准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「読解と思考の技法」を追加
- ・金治宏准教授 担当者変更に伴い、担当科目「ソーシャルビジネス」を削除
- ・藤村佳子准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「インターンシップ」を追加
- ・担当者変更に伴い、担当科目「女性のアントレプレナーシップ」を削除
- ・担当科目変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・大島祥子准教授 教育効果向上の理由に伴い、下記の担当科目を追加
- 「産官学連携プロジェクト」「ソーシャルビジネス」「女性のアントレプレナーシップ」
- ・関道子准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「産官学連携プロジェクト」を追加
- ・森久美子准教授 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「京都光華の学び」を追加
- ・河嶋伸久准教授 昇任に伴い、職位を「准教授」に変更
- ・谷本拓郎講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加
- ・小島菜実絵講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・Strickland Zachary Marcus講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「多文化理解」を追加
- ・浜内彩乃講師 担当者変更に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を削除
- ・佐藤嘉洋講師 教育効果向上の理由に伴い、下記の担当科目を追加
- 「教務処理の基礎」「産官学連携プロジェクト」「インターンシップ」「社会調査法」「データ解析入門」「コンピュータ活用C」
- ・村上貴栄講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加
- ・巽美奈子講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「専門職の連携（基礎）」を追加

【兼任】

- ・朝倉真一講師 教育効果向上の理由に伴い、担当科目「アカデミックスキル入門」を追加
- ・有原悠乃講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「京都光華の学び」を削除
- ・池原唯子講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
- ・今村行雄講師 担当科目「公衆衛生学」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・上田和彦講師 届出時の記載修正のため、年齢を48歳から65歳に修正。
- ・Carolyn Wright講師 担当者変更に伴い、担当科目「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「国際社会とジェンダー」を削除
- ・齋藤鮎子講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「アカデミックスキル入門」を削除
- ・James Drayton講師 担当者変更に伴い、担当科目「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を削除
- ・千田真喜子講師 担当科目「食生活と健康」の開講期変更に伴い、就任（予定）年月を変更
- ・高居佐紀講師 開講クラス調整に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を削除
- ・中村真理絵講師 担当者変更に伴い、担当科目「文化人類学」を削除
- ・ピーティ由紀子講師 担当者変更に伴い、担当科目「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「医療英語」を削除
- ・三井規裕講師 担当者変更に伴い、担当科目「情報社会の理解」を削除
- ・太田路子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「アカデミックスキル入門」「アカデミックライティング」
- ・Pearce Layton Strickland講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」
- ・Robert Quinn講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」
- ・韓亨模講師 開講クラス数の調整理由に伴う担当者追加「ハングルⅠ」「ハングルⅡ」
- ・久米雅講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「スポーツ実技Ⅱ」
- ・辻貴志講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「文化人類学」
- ・Galsanjigmed Enkhzui講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「国際社会とジェンダー」
- ・瀧口晶子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者変更「日本国憲法」
- ・玉木亜紀子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者追加「情報リテラシー応用」
- ・小城弥生講師 教育効果向上の理由に伴う担当者追加「情報リテラシー基礎」「情報リテラシー応用」
- ・中宮朋子講師 教育効果向上の理由に伴う担当者追加「メディカルクラークⅠ」「メディカルクラークⅡ」「メディカルクラーク応用」

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
49	25
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
3	1	3	0	7	0	3	1	3	0	7	0
(3)	(1)	(3)	(0)	(7)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
3	1	3	0	7	0	3	1	3	0	7	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	5	3	0	18	0	10	5	3	0	18	0
(10)	(5)	(3)	(0)	(18)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	5	3	0	18	0	10	5	3	0	18	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	6	5	0	19	0	8	6	5	0	19	0
(8)	(6)	(5)	(0)	(19)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	6	5	0	19	0	8	6	5	0	19	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	3	1	0	8	0	4	3	1	0	8	0
(4)	(3)	(1)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	3	1	0	8	0	4	3	1	0	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、既かで設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	4	4	1	13	0	4	4	4	1	13	0
(4)	(4)	(4)	(1)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	4	4	1	13	0	4	4	4	1	13	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、既かで設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	7	2	0	17	0	8	7	2	0	17	0
(8)	(7)	(2)	(0)	(17)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	7	2	0	17	0	8	7	2	0	17	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、既かで設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
届出時 (令和3年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項	履行中

(注) ・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間健康学群>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>毎月1回定例開催（8月を除く）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔FD委員会〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学運営会議から指示の事項 2. 教育内容・方法に関する事項 3. FD研修の企画・実施に関する事項 4. FDの関係機関との交流に関する事項 5. その他委員会が必要と認めた事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業アンケート（年2回実施） ・ FD研修会（年1回） ・ 学科内FD活動報告 <p>b 実施方法</p> <p>〔授業アンケート〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての科目について、Web上で学生個人に回答をしてもらう。 <p>〔FD研修会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全専任教員を対象とし、外部講師を招いたFD研修会または、学内の実践報告を毎年行っている。 <p>〔学科内FD活動報告〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学科が1年間に行ったFD活動をFD委員会で報告をし、各学科間で情報共有し、各学科のFD活動の改善を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

〔授業アンケート〕

- ・前期、後期で各1回実施。学生の回答率は2021年前期49.3%、後期43.6%。
回答率が低いとため、回答率向上の施策を講じる。

〔FD研修会〕

- ・FD研修会の参加率は100%（オンライン開催による参加およびオンデマンド視聴数より）。
毎年度、各学科から研修テーマを募り、外部講師の招聘や学内の実践報告を行い、
全学の教育改善に努めている。

〔学科内FD活動報告〕

- ・年度当初に年間のFD活動の目標等を設定し、年度末に各学科の1年間のFD活動をFD委員会で報告している。
FD委員会で報告された内容は、各学科会議で学科所属教員全員に共有している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

〔授業アンケート〕

- ・集計結果および記述内容を教員個人にフィードバックし、授業期間中に授業担当教員から学生に結果を
フィードバックしている。また、学科内で結果の共有をはかり、学科をあげて授業改善を行っている。

〔FD研修会・学科内FD活動報告〕

- ・研修内容および各学科の年間活動報告を各学科へ持ち帰り、各学科において、学科FDを行っている。
他学科や他の教員の工夫等を聞き、学科全体および教員個人の教育改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期に各1回実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記のとおり。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間健康学群では、人の健康の維持・増進に関わる課題を総合的に考え解決に導くために、WHOが提唱する健康の定義の考え方（健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病または病弱が存在しないことではない）に基づき、身体的健康・精神的健康・社会的健康に関わる知識と技能を修得し、人の生涯に渡る健康の維持・増進、延いては社会全体の健康の維持・増進をマネジメントできる能力を修得した人材を養成することを目的としている。このような人材は、今後の社会において、よりニーズの高まる分野であると考えている。令和4年度は募集開始時期等の都合により、十分な広報が間に合わず、入学者の確保に至らなかったが、令和5年度の入学者確保に向け、昨年より全学をあげて募集・広報活動を強化している。令和5年度は入学者を確保し、設置の趣旨・目的の達成に努めたいと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に大学基準協会の認証評価を予定しており、令和4年3月に受審資料を提出済みである。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。